MARKET VALUATION METHOD FOR IDEA BY AUCTION UTILIZING INTERNET HOMEPAGE AND IDEA AUCTION METHOD BASED ON THE VALUATION

Patent number

JP2002049789

Publication date:

2002-02-15

Inventor:

KURAMOCHI YASUFUMI

Applicant:

KURAMOCHI YASUFUMI

Classification:

(IPC1-7): G06F17/60

- european: Application number:

JP20000233267 20000801

Priority number(s):

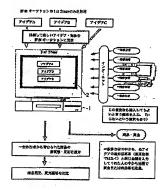
JP20000233267 20000801

Report a data error here

Abstract of JP2002049789

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an auction method by a homepage by which valuation for an idea as a general price is obtained and the distribution of the idea as merchandise is promoted on the basis of the valuation, SOLUTION: An auction manager opens the homepage for a valuation auction over the Internet, an idea provider provides disclosed data about an idea to be provided, auction participants read the disclosed data of the idea on the homepage, the auction manager promises auction participants, who offer a bid corresponding to the price zone in which the number of biddings is the highest, to receive reward to a lottery prizewinner among the above auction participants, and the auction participants offer a bid for an assumed price that is considered to be a price, to which the other auction participants offer in largest number of for the bid the idea, in order to obtain the reward so that general valuation can be obtained.

Tanded 1 (1)



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19)日本阀特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号 特謝2002-49789 (P2002-49789A)

(43)公開日 平成14年2月15日(2002.2.15)

(51) Int.Cl.7	裁別部号	FI	テーマコード(参考)		
G06F 17/60	3 1 6	C 0 6 F 17/60	316	5B049	•
	170		1701		
	302		302E		
	504		504		

審査請求 未請求 請求項の数2 OL (全 6 頁)

(21)出廣番号 特顧2000-233267(P2000-233267) (22) 出版日 平成12年8月1日(2000.8.1)

(71) 出頭人 500356304 介持 康文 茨城県下妻市半谷491-22 (72)発明者 倉持 康文 茨城県下要市半谷491-22 (74)代理人 100064403 **弁理士 福田 尚去** F ターム(参考) 58049 AA00 BB36 CC36 FF03 GG04 GC09

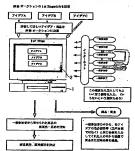
(54) 【発明の名称】 インターネットのホームページを利用したオークションによるアイデアの市場評価方法とその評 価に基づくアイデアオークションの方法

(57)【要約】

ンの方法を提供する。

【課題】 一般的な価格としてのアイデアに対する評価 を得られ、その評価に基づいてそのアイデアを商品とし て流通が促進可能となるホームページによるオークショ

【解決手段】 オークション管理者はインターネット上 に評価オークション用のホームページを開設し、アイデ ア提供者は提供するアイデアに関する開示データを提供 し、オークション参加者は前記ホームページでアイデア の開示データを閲覧し、オークション管理者は入札数の 最多となった価格帯に該当する入札を行ったオークショ ン参加者に対して、その抽選当選者に対して報償を行う ことを約束し、オークション参加者はその報償を得るこ とを目的に前記アイデアに対して他のオークション参加 者がより多く入札すると思われる想定価格を入札するこ とによって一般的評価が得られるようする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 オークション管理者及びオークション参 加者はコンピュータ(1)によるインターネットハード 資源を備え、前記オークション管理者はインターネット 上に評価オークション用のフレーム画面を備えたホーム ページを開設し、アイデア提供者は提供する知的所有権 及び/又は新商品企画に係わるアイデアに関する開示デ ータを提供し、オークション管理者はそのアイデアの開 示データを前記オークション用のホームページに開示し てオークション参加者が自由に見られるようにし、オー クション参加者は前記ホームページにアクセスしてアイ デアの開示データを閲覧し、オークション管理者は入札 数の最多となった価格又はその価格帯に該当する入札を 行ったオークション参加者に対して、その全員又は抽選 当選者に対して報償を行うことを約束し、オークション 参加者はその報償を得ることを目的に前記アイデアに対 してコンピュータ(1)のモニター画面(2)に表示さ れているホームページを介して他のオークション参加者 がより多く入札すると思われる想定価格を入札すること によって主観的価値判断を避けようとする心理作用によ って一般的評価が得られるようにしたことを特徴とする インターネットのホームページを利用したオークション によるアイデアの市場評価方法。

【翻求項2】 オークション管理者は評価オークション 用のフレーム画面を備えたホームページと同じ又は別め ホームページ上に契約オークション用のフレーム画面を 備え、そのフレーム画面上に規製のアイデアの入札結果 を公開して、その入札評価を参考とする契約オークショ ンを開催し、そのオークション参加者はその中から得た いアイデアの契約したい価格の入札を行い、そのうちの 最高格の入札者に契約の様とぞ行っとを特徴とする 請求項1記載のインクーネットのホームページを利用し たオークションによるアイデアの市場評価方法で得られ た評価に基づくアイデアオークションの方法と

【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明が属する技術分野】本発明は、インターネットを 利用したホームページによる短的所有権や新企画商品に 係わる発明及びアイデアなどに関して一般が評価方法で得ら るためオークションの方法及びその市場評価方法で得ら れた評価に基づいて行うアイデアオークションの方法に 関する。

[0002]

【従来の技術】これまで、一般的な商品についてはインターネット上に開設されたホームページからのアクセス によるオークションより含動の商品の入札、落札がなされて移札価格による商品取引がなされている。オークションでは、商品を提供する側の窓窓的な価格ではな、その商品に対してほしい人が直接参加してその人にとって購入しても良いとする価格を購入者間から決めら

れる利点がある。

【0003】また、オークションの対象とするものについて、そのような物品についての商品は他人に転売可能なので価格が変更とやすい面がみるが、サービスそのもの商品など物品ではないものについては購入者の必要性に係わり、必要とするものにとっては大きな価値があるが必要としない考定とっては全く価値がなく、サービスを受けた時点でそのサービスは終了してしまい転売できない性質のものが多く、客観的な価格は大変決め難いの水実情である。

【004】一方、アイデアや発明は物その物ではなく 実体のない「6の」即方知的所有権などの所謂無保財産 起長うものなので、その評価をするのが大型開せる り、その評価から設定される客観的な価格の設定につい ても同様に国態である。そしてさらに、その価格のない 物の流過化権かく因態である。

(0005) 現在、発明に関するアイデアをホームペーシに開示し、商品化を支援しようとする試めが数多くなされている。しかし、それらは木だ普類としてのアイデアをインターネット上にそのまま展示してその内容を知せるだけで味わり、それらの技術を用い、商品の販売実績は皆無であるために、企業家にとっては商品価値を評価することが殆どできず、高減として取り上げられること自体は潜えないのが実得である。

[0006]一方、発明の客観的な評価をしようとする 試みもあるが、対象が中小企義などで持っている特許の 収実評価を行わらとするものであって、資金、設備、人 員などを含めて将来性について総合評価しようとするも ので、そういう基準のない・個人発明に対しては行おうと するものではなかった。

【0007】また、ホームページ上に一根の物品と同様にアイデアを対象としてオーションしようとする試みもあったが、その発明について評価があされることもなく、結果として取引が行われて契約が安されたとする話の指定ないのが実態である。として特に個人による発明では、発明は特許成立してもその殆どは製品化には至っていない。

【0008】また新規事業の立ち上げは、産業振興と雇用の場を増やすこれるので不況政策上禁急の課題であるが、職責支援の変定は智可振騰の乏しい者の主規的な評価で決まり失敗も多く、事業として成功しているものは極めて少ない。逆に、たとえ市場で高い評価がえられるような優九たアイデアであっても、そのような評価のもとでは支援対象から除外されてしまっているのが実態である。

【0009】そして、日本では、個人のアイデアの商品 化については、本人が相当に努力したとしても他人から は殆ど関心を持ってもらえず、せっかく特許を取得して も、発明したことの誇りよりも、その発明について世間 から全く関心を持たれないことに気づいて落胆は大変に 大きく、発明意欲を喪失してしまう発明家が多い。 【 0 0 1 0 】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、上紀実情に 鑑みてなされたもので、知的所有権や新企画商品に係め を現現及びイデアなどに関し、そのアイデアを提案し た本人に幹得できる一般的な価格としての評価を得ら れ、その価値評価に基づいてそのアイデアを商品として 、 で通過び提連項にとなるインターネットを利用したホーム ページによる一般的な評価を得るためオークションの方 法及びその市場評価方法で得られた評価に基づくアイデ アオークションの方法を提供するものである。

[0011]

「職題を解決するための手段」上記課題を解決するため
に 本売明は、オークションを
加者はコンピュータ1によるインターネットハード資源
を備え、前記オークション帝軍老はインターネット上に
評値オークション用のフレール画面を億えたームペー
ジを開設し、アイデア提供者は提供する知的所有権及び
ス以抵前施品面に係あるアイデアに関する目示データ
を提供し、オークションを理想はそのアイデアの開示デーク
を提供し、オークションを理想はそのアイデアの開示
ークを前記オークションを加着は前記ホームページにアクセスしてアイデアの
同宗データを関連し、
コン参加者は前記ホームページにアクセスしてアイデア
の開宗データを関連し、

【0012】オークション管理報は入札数の最多となった価格気はその価格帯に該当する入札を行ったオークション参加権に対して、その金員又は抽選当退落に対して報信を行うことを約束し、オークション参加権はその報告に表示されているホームページを力して他のオークション参加者がより多く入札すると思われる想定価格を入札することによって主説的価値判断を避けようとする心理作用によって一般的評価が得られ、ページを利用したオークションによるアイデアの市場評価方法である。

(1) 13 また、オークション管理者は評価オークション用のフレーム画面を備えたホームページと同じ又は 別のホームページと見じて大い。 ジーダージーション用のフレーム画面 自衛表、そのブレーム画面上に複数のアイデアの入札 結果を公開して、そのオークション参加者はその中から 契約したい価格の入札を行い、そのうちの最高储格の入札を実勢の発札を行うことを特徴とする上記インターネットのホームページを利用したオークションによるアイデアの市場評価方法で得られた評価に基づくアイデアオークションの方法である。

[0014]

【発明の実施の形態】本発明の実施の形態を図の実施例 に基づいて以下説明する。 【0015】本発明は、オークション管理者及びオークション参加者はコンピュータ1によるインターネットハード資源(インターネット機能を持った機器類、即ちデジタルテレビ、携帯電話機、ゲーム機を含む)を備える。

【0016】そして、本発明は、図1に示すように、評価オークション(第一ステージ)単独の場合と、図2に示すように、その評価オークション(第一ステージ)を まに契約オークション(第二ステージ)へ移行する形態 とがある。

【0017】まず、評価オークション単独の形態について説明する。この形態は、図1に示すように、前記オークション作用株はインターネット上に評価インターカーション作用を指している場合では、アイデスに関する間が、アイデスに関する間が、アイデスに関する間が、アイデアを発作されては、アイデアを、他)をアイデアを発して、アイデアを発しての場合で、アイデアを登録しての明示データを前記オークション管理者はそのアイデアを登録しての明示データを前記オークション学加着(小参加者)が自に見られるようにする。オークション参加者(中参加者)が自由に見られるようにする。オークション参加者(インターネット回線を通して前記ホームペーンにアクセスしてアイデアの開示データを閲覧オームペーンにアクセスしてアイデアの開示データを閲覧する。

【0018】オークション管理者は入札数の幾多となった価格又はその価格ではまります。ス札を行ったオークション参加者に対して、その金属又は抽選当場をは対して報信(商品、賞金とどの報信)を行っことを約束する。【0019】オークション参加者はその解係を得ることを目的に開設アイデアに対してコンピュータ)のモニター画面2に表示されているホームページを介して他のオークション参加者がより多く入札すると思わる想定価格を入札する。そのことによって主観的価値判断を避けようとする心理作用によって一般的評価が得られるようにする。

【0020】オークション参加者の入札結果はホームページで公表し、入札敷の最多となった価格又はその価格帯に該当する入札を行ったオークション参加者に対して、約束通り、全員又は抽選当遇者に対して報償(商品、賃金などの報償)を引き渡す。

【0021】次に、上記評価オークション (第一ステージ)を基にした契約オークション (第二ステージ)へ移行する形態について説明する。この契約オークションの形態については、図2に示すように、オークション管理者者は上記評価オークション内のレーム画面を備えたホームページと同じ又はそれとは別のホームページ上に突りオークションドロットレーム画面を備える。そして、クフレーム画面上に上記評価オークションによる複数のアイデアの入札結果を公開(後正評価デみアイデアA)して、その入井評価を参考とする契約オークションを開けている場合では、

【0022】そして、その複数のオークション参加者 (企業)はその中から契約したい価格の入札を行ない、 そのうちの最高価格の入札者に契約の落札し、その落札 アイデアは落札企業により商品化され販売されることに なる.

[0023]

【実施例】いまここに、使っても減らない「鉛筆」に関 するアイデア持つ者がそのアイデアについてその買い手 を探している場合について以下具体的に説明する。「鉛 筆」のアイデア持つ者がインターネットのホームページ 検索中に本発明のアイデアオークションの存在を知る。 そして、そのホームページを開設しているオークション 管理者に対して「鉛筆」のオークションの登録を、開示 データ送るとともに登録料1000円とを支払って申し 込む。オークション管理者は評価ホームページにその 「鉛筆」の特許公報などの開示データを載せる。

【0024】オークション参加者はその評価ホームペー ジにアクセスし、入札数の最多となった最多価格からア ラスマイナス10万円に該当する範囲に入札を行ったオ ークション参加者に対して、抽選当選者に対して10万 円の賞金を払うとの記載を見て、その賞金を得ようとし て前記開示データを見てオークションに参加する(入札 期限内に、その開示されたアイデアが他人からどのくら いの価値で評価されるのかについて予想し500万円の 評価の入札をする)。

【0025】オークション管理者は、評価オークション の結果を発表する。「鉛筆」は300万円前後が多く入 札された。そこで290万円から310万円の入札者か ら抽選して1名に10万円の懸賞を払った。この費用は ホームページに掲載した広告収入の中から拠出する。 【0026】次に、前記評価オークションの各アイデア の入札結果を契約ホームページに公表し、その入札評価 を参考とする契約オークションを開催する。

【0027】その契約ホームページを見たオークション 参加者(企業)が、その中から契約したい価格の入札を 行なう、A会社が、「鉛筆」の開示データとの公表され た評価オークションの入札結果の評価データとを見て入 札した、そしてその「鉛筆」についての最高価格350 万円で入札して権利譲渡の契約落札した。アイデア提供 者は オークション管理者に対して前記契約料350万 円の1%の金額の仲介料3万5000円を渡した。早 速、落札企業であるA会社は、その落札取得したアイデ アの商品化のための試作品製作にとりかかり、そして完 成された製品は店頭にて販売されることになる。 [0028]

【発明の効果】本発明は以上のようであり、知的所有権 や新企画商品に係わる発明及びアイデアなどに関し、だ れでもアクセスし見ることができるインターネットとい う通信手段を利用し、また通信によるオークションとい う手法と懸賞を得たいとする人間の欲求を価格決定のメ カニズムに組み込むことによって、アイデアという価格 の付け方が困難な「もの」に対しても本人に納得できる 一般的な価格としての世間 (不特定多数) からの評価を 得ることが可能となった。そして、評価オークションに おいては、参加する不特定多数による一般的な価値評価 が決まり、それが多くの人が認めたいわば市場ニーズに よる評価とみることができる。

【0029】これまで、発明者にとって、アイデアの製 品化は夢であったが、本発明によって、アイデア提供者 は提案したアイデアについて多数の人 (オークション参 加者)から一般的評価(適正価格)を付けて貰え、そし てその評価(自己評価ではない客観性の高い評価)を基 に他者(企業家や投資者)に対して、評価価格の根拠を 提示すことによりアイデア取引交渉がし易くなる。

【0030】また、実際にアイデアに対して価格が示さ れることは、アイデアが商品として認められることであ り、売買などが可能な流通市場に参加することが可能と なる。その評価(価格)を示すことによって、契約しよ うとする企業家が、そのアイデア商品の需要の大きさの 判断材料とし、アイデアの入手 (落札) 意欲が掻き立て られ、次の契約オークションに参加するようになる。そ して、契約オークションにおいて、実際に落札し契約が 成立すると、企業家は市場ニーズに応え、利益を得るた めにそのアイデアの商品化に着手することとなり、その アイデア商品の販売も早期に実現できるようになる。そ の際、評価オークションに示される一般人の入札行動自 体が市場調査と同じ機能を持つので、新たに市場調査を しなくてもリスク評価や販売量の推定などができる。 【0031】また、オークション管理者は、ホームペー ジに載せる広告により広告収入と、オークションへのア イデア提供者からのアイデア登録料と企業家からの仲介 手数料などの収入も期待することができる。 【図画の簡単な説明】

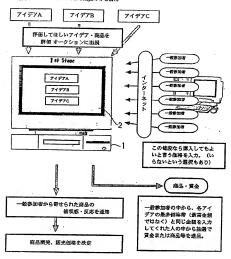
【図1】本発明の評価オークションの形態を示す概念

【図2】評価オークションを基にした契約オークション へ移行する形態を示す概念図。 【符号の説明】

- 1 コンピュータ
- モニター画面

【図1】

評価 オークションの 1 st Stageのみを活用



【図2】

